



川間駅北口広場の整備や 駅舎のバリアフリー工事も

川間駅の北口広場を1.5倍に拡大し、駅前の利便性を図るとともに、市・国の補助により川間駅のバリアフリー工事を進めます。また、農産物直売所「ゆめあぐり野田」ではより一層安全・安心な農産物を提供していきます。

川間駅北口駅前広場を 1.5倍に拡大

川間駅は、市内6駅の中でも最も乗降客数が多い駅で、駅勢圏の



駅前広場を拡張し車の流れをスムーズに

広がり野田地域北部と関宿地域の大部分に至っています。このため、合併時に策定した「新市建設計画」では、新市の一体性の醸成、均衡ある発展のための重



点事業として、「川間駅北口駅前広場の整備」を位置付けています。

駅前広場は、バス・タクシー乗降場や一般車・企業バス送迎用停車帯などを配置した面積約4千500平方メートルの施設として計画し、現在よりも1.5倍ほどの広さとなります。

平成21年度に地元自治会や商店会を対象にした説明会を開催し、都市計画変更の手続きを経て、事業用地を確定するための測量を行いました。

また、駅前広場の整備に先立ち、東武鉄道(株)が事業主体となり、22年度竣工の予定で駅舎のバリアフリー工事を進めています。

野田地域の外郭環状 道路の完成に向けて

船形吉春線は、野田地域の外郭環状道路の一部に位置付けられ、



完成すれば関宿地域の南東部から川間駅へのアクセスが向上

県道・我孫子関宿線の船形地先と国道16号の吉春地先を結びます。全長千100メートルの本線は、17年度から用地の測量など本格的な建設事業を開始し、25年度の完成を目指しています。

船形吉春線が完成すると、関宿地域の南東部から最寄りの東武野田線・川間駅へのアクセスが向上します。また、山崎吉春線、県事業の都市計画道路・今上木野崎線の整備とあわせて、野田地域の外郭環状道路が完成すれば、市内の交通渋滞が緩和される見込みです。